

小論文

(問題)

2014年度

〈2014 H26089020〉

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は3ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. 小論文解答用紙記入上の注意
 - (1) 小論文解答用紙の所定の欄に、受験番号および氏名を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定の欄以外に受験番号および氏名を書いてはならない。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

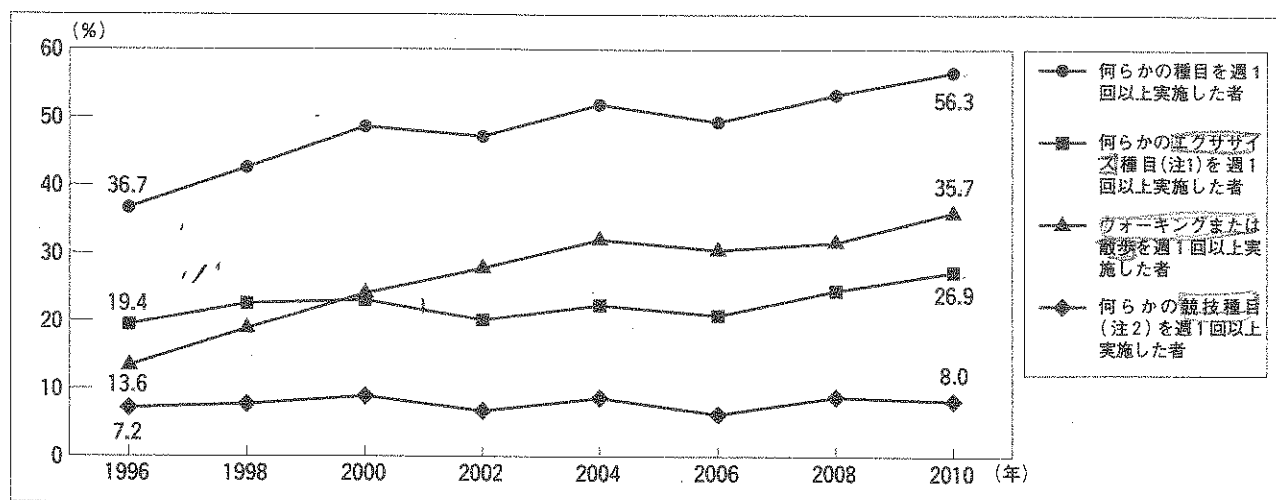
数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

(例)	3	8	2	5	番⇒	万	千	百	十	一
							3	8	2	5

- (5) 解答用紙の「記入上の注意」をよく読んで解答すること。
5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定の欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
7. 問題冊子および下書き用紙は持ち帰ること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

次の図は、日本の成人の「運動・スポーツ種目別週1回以上実施者の推移」を示したものである。図から読み取れることを示し、それにもとづいて日本における今後のスポーツ振興の課題について801字以上1000字以内で述べなさい。



(注1) エクササイズ種目：エアロビックダンス、筋力トレーニング、サイクリング、ジョギング・ランニング、水泳、ヨーガ、体操（軽い体操、ラジオ体操など）

(注2) 競技種目：空手、剣道、硬式テニス、サッカー、社交ダンス（ダンススポーツ）、柔道、ソフトテニス、ソフトバレー、ソフトボール、卓球、バスケットボール、バレーボール、フットサル、野球

[以下 余 白]